

米代川水系流域治水ニュース



発行者：国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所
 〒016-0121 能代市鍼瀧字一本柳97-1 TEL 0185-70-1001 (代)
<http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/> E-mail thr-noshiro01@mlit.go.jp

第5回米代川圏域流域治水協議会 (令和4年9月30日開催)

河川管理者だけでなく、米代川流域のあらゆる関係者が連携し治水に取り組む「流域治水プロジェクト」。令和4年8月の豪雨を受け、流域治水の更なる推進が求められる中、流域治水協議会を開催。規約の改定や今後の方針を確認し承認されました。



そのほか各機関の取り組みを確認するフォローアップを実施。水害リスクマップの公表や水害リスク情報空白域の解消等の情報提供を行い、防災力向上を図りました。

Check. 「第1回米代川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会」を同時開催



これまで個別に開催されていた国、県の減災対策協議会を統合。情報伝達や各種訓練等、ソフト対策を中心に取り組んで行く方針を確認しました。

参加者の主なコメント

【大館市】

大館市議会では「8月豪雨災害を経験してからの現実的な水防災社会をどう作り上げていくか」という議題が主となり、流域治水の考え方が一気に広がった。

【能代市】

立地適正化計画の策定や地域防災計画の修正を行っており、引き続きソフト対策にも取り組んでいく。

【北秋田市】

森吉山ダム竣工の効果が目に見えて現れている。人身被害は無かったものの、農林、土木関連施設の被害が甚大であり、復旧に取り組んでいる。

【鹿角市】

短時間に記録的豪雨を経験し災害の早さを実感した。小規模河川の対策が求められている。



※米代川水系流域治水プロジェクトについては、下記のURL(QRコード)より確認できます。

<http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/kasen/ryuikichisui/ryuikichisui.htm>



米代川水系「多段階浸水想定図」「水害リスクマップ」を公表



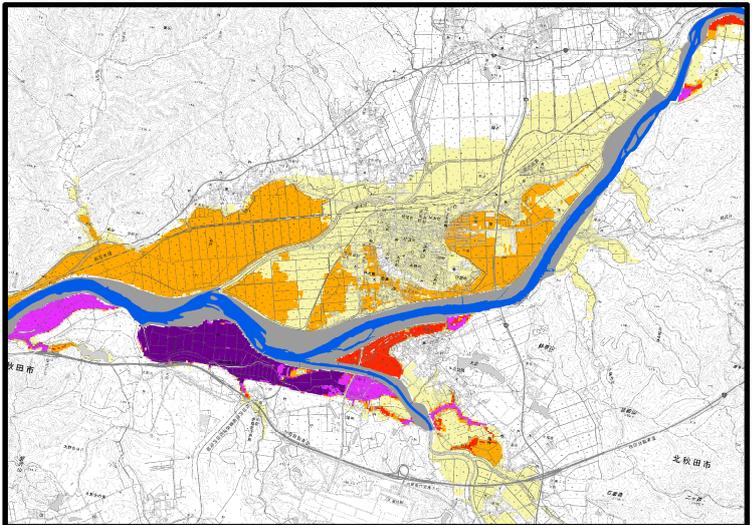
「多段階浸水想定図」「水害リスクマップ」は浸水するリスクのある範囲を視覚的に表示したものであり、街づくりや流域治水への活用を目的に作成したものです。住居や企業の立地誘導に使用できるほか、資産被害を最小限にとどめたいという企業BCPの促進に役立ちます。

NEW 多段階浸水想定図

高頻度(10年に1度)、中頻度(50年に1度)といった年超過確率(毎年1年間にその規模を越える洪水が発生する確率)の降雨により、どの範囲がどの程度の浸水深となるかを示した**頻度ごとの浸水想定図**。

NEW 水害リスクマップ

多段階浸水想定図を重ね合わせることで、**50cm以上の浸水や3m以上の浸水**がどの程度の頻度で発生するのかが一目で分かる**被害規模ごとの浸水想定図**。



凡 例			
高頻度	(1/10)	米代川流域で24時間の総雨量133.5mm	10%
中高頻度	(1/30)	米代川流域で24時間の総雨量161.5mm	3%
中頻度	(1/50)	米代川流域で24時間の総雨量174.3mm	2%
中低頻度	(1/100)	米代川流域で24時間の総雨量191.5mm	1%
想定最大規模		米代川流域で24時間の総雨量254mm	0.1%

例：浸水深50cm以上の水害リスクマップ

水害ハザードマップ

想定**最大規模降雨(1000年に1度)**を対象に作成した**浸水想定図**。
 自分の生活圏が浸水してしまうのか？浸水深や浸水時間が分かるので主に水害からの避難に活用されています。

市町村が配布しているハザードマップ(防災マップ)は想定最大規模の浸水想定図を基に作成されています。

水害リスク情報の空白域 解消へ

これまで主に大河川(米代川等)を中心に浸水想定区域図が作成されてきましたが、中小河川流域の**水害リスク情報未整備区域**を**解消**するため、令和3年度に水防法を改正。浸水想定区域を設定する河川の目標数を、現在の全国約2,000から**約17,000**(2025年度)に増やし、より多くの住民に水害リスク情報を届けます。令和4年度は大館市ハザードマップに犀川の浸水想定区域が追加。今後も随時区域を拡大し、地域の防災力向上を目指します。



大館市ハザードマップ(令和4年10月更新)



お住まいの地域が浸水想定区域に含まれているか？
 情報が更新されたら改めて確認し、避難場所を決めておきましょう！